

横断歩行者保護 交通安全コーチング

4-2_無信号交差点での危険_歩行者編

* 感情コントロール：ゆるみ *

インストラクター 手引き書

この講習は、通常の交通安全講習とは異なり、受講者の皆さんが主体です。ディスカッションを行う際は、コーチングの基本を参考に、進めてください。

◎コーチングの基本

- ・ どんな意見に対しても否定はしないこと。
- ・ 自由奔放に意見ができる雰囲気をつくること。
(真面目な意見も面白い意見も大歓迎)
- ・ 人の意見と同じでもいいし、そこから発展させることも大いに結構。

横断歩行者保護 交通安全コーチング

4-2_無信号交差点での危険_歩行者編 * 感情コントロール：ゆるみ *

●はじめに

交通事故による死者は、歩行中が最も多く、そのうちの7割は、道路を横断するときに発生しています。ドライバー・歩行者、双方の不注意と見逃しが重なることが、主な要因となり、横断歩行者の事故は起きています。

不注意や、見逃しをしてしまうなど、危険を察知する力が欠けてしまう理由のひとつに、わたしたち人間は、体調や気分、それぞれの性格によって、異なる判断をし、ときに正しい行動ができなくなることがあります。

「横断歩行者保護 交通安全コーチング」では、自分自身を振り返り、自分はどんな感情を持ちやすいか、そしてその感情がどのような危険行動をもたらすかに気づき・知ってもらい、横断歩行者保護の啓発につながることを、目的としています。

本動画では、信号機のない交差点の歩行者視点における、「ゆるみの感情」をテーマとしています。

●ゴール

誰にでも気の緩みはあり、常に気を張り詰めて行動することは不可能ですので、「気がゆるんでいても危険を避けられる方法」について考えていきます。

●プログラム（※受講者へワークシートを配布し、プログラムに沿って進行してください）

- 1: グループ（4名～6名くらいで1グループ）を作り、発表する役割をもつチームリーダーを各グループで決めてください。
- 2: 動画を再生し、最後まで動画を視聴します。（約4分）
- 3: 気の緩みについて、自分への振り返りと気づきの教育を行います。各自ワークシートへ記入し、グループディスカッションした内容をグループリーダーに発表してもらいます。（約10分）
- 4: 気の緩みがあっても事故防止につながる方法について具体的に考えます。グループ内でディスカッションした内容をグループリーダーに発表してもらいます。（約5分）
- 5: 各グループから発表された解決方法から、自分が行えそうな方法を選択します。参加者各自がその選択した解決方法について発表します。（約5分）

所要時間： 約20分～30分

横断歩行者保護 交通安全コーチング

4-2_無信号交差点での危険_歩行者編 * 感情コントロール：ゆるみ *

●横断歩行者保護 交通安全コーチング 進行フロー

- 1: グループ（4名～6名くらいで1グループ）を作り、発表する役割をもつチームリーダーを各グループで決めてください。
- 2: 動画を再生し、最後まで動画を視聴します。（約4分）

インストラクター：

「これからお見せするのは、お出かけをして、駅から家に帰っている途中で、信号機のない交差点に差し掛かる場面の動画です。いつもの道をいつも通りに歩いている、そういった場面でどんな危険が起こるか、考えながらご覧ください。」

★動画START（最後まで視聴します）

- 3: 気の緩みについて、自分への振り返りと気づきの教育を行います。各自ワークシートへ記入し、グループディスカッションした内容をグループリーダーに発表してもらいます。（約10分）

インストラクター：

「いつも通っている道だと慣れてしまって、気のゆるみが起きがちですね。気のゆるみは、危険の見落としなどに繋がって危険です。」

「でも、気のゆるみは、無意識に起こるのでなかなか変えることは難しいものです。そもそも、いつも緊張して行動することは困難です。では、その対策はどうしたらいいか、皆さんで解決策を考えましょう。」

「気がゆるんでいても、事故防止を可能にする方法とは、どういったことが考えられるでしょうか。」

「では、まずはじめに、気のゆるみは、あなたの行動に、どんな影響をもたらすか、各自ワークシートへ記入し、グループ内でディスカッションをしてみましょう。」

気のゆるみは、あなたの運転にどんな影響をもたらすか、記入してください。いくつでも構いません。

受講者
ワークシート

横断歩行者保護 交通安全コーチング

4-2_無信号交差点での危険_歩行者編 * 感情コントロール：ゆるみ *

●横断歩行者保護 交通安全コーチング 進行フロー

- 3: 気の緩みについて、自分への振り返りと気づきの教育を行います。各自ワークシートへ記入し、グループディスカッションした内容をグループリーダーに発表してもらいます。

気のゆるみは、行動にどんな影響をもたらすか

※参加者が戸惑うようであれば、「呼び水」として、例をいくつか提示してください。

- 例)
- ・確認を怠る（確認回数の減少、しっかりと確認しない）
 - ・クルマが近づいているのに気づかない
 - ・横からの自転車に気づきにくくなる
 - ・視界が狭くなる
 - ・周辺を警戒する意識が薄れる
 - ・クルマや自転車のブレーキ音に気づきかない
 - ・クルマが気づいてくれるだろうと思ってしまう（自分で自分を守ろうという意識が薄れる）
 - ・クルマが歩行者を守るべきだと思ってしまう（自分で自分を守ろうという意識が薄れる）
 - ・そもそも事故には合わないと思ってしまう

インストラクター：

「さあ、いろいろな影響があることがわかってきましたね。思い返してみると、自分も似たような経験があったのではないのでしょうか？グループリーダーは、グループ内で話した気のゆるみが、ふだんの行動に、どのような影響をもたらしたのかについて、発表をお願いします。」

横断歩行者保護 交通安全コーチング

4-2_無信号交差点での危険_歩行者編 * 感情コントロール：ゆるみ *

●横断歩行者保護 交通安全コーチング 進行フロー

- 4: 気の緩みがあっても事故防止につながる方法について具体的に考えます。
グループ内でディスカッションした内容をグループリーダーに発表してもらいます。（約5分）

インストラクター：

「気のゆるみが、皆さんのふだんの行動に、いろいろな影響を及ぼしていることが見えてきました。最初にも言いましたが、気のゆるみは、無意識に起こるのでなかなか変えることは難しいものではありません。」

「気がゆるんでいても事故防止につながる解決方法にはどういったことがあるか、みなさんが普段心掛けていることも含めて具体的な解決方法を話し合ってください。その後グループリーダーによる発表をお願いします。」

※発表された解決方法について、受講者が視認できるようホワイトボードなどに書き出してください。

(例)

- | | |
|---------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|
| <ul style="list-style-type: none"> ・車の多いところは、なるべく避ける。 ・ときどき自分の姿を客観視する癖をつける。 ・自分は気が緩みやすい性格だと自覚する。 ・横断歩道は急がないことを習慣づける。 ・横断前に、一時止まって左右を確認することを習慣づける。 ・慣れた道ほど注意することを常々意識することを身に着ける。 | <ul style="list-style-type: none"> ・信号がない場所での横断では、手をあげて渡ることを習慣づける。 ・少し遠くても信号機のある所で横断する。 ・周りが気づきやすい服装や気づきやすいものを身に着ける。 ・ドライバーを信用しない。 など |
|---------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|

気のゆるみに対する解決方法として、どのように運転を行うべきか記入してください。いくつでも構い

受講者
ワークシート

横断歩行者保護 交通安全コーチング

4-2_無信号交差点での危険_歩行者編 * 感情コントロール：ゆるみ *

●横断歩行者保護 交通安全コーチング 進行フロー

- 5: 各グループから発表された解決方法から、自分が行えそうな方法を選択します。参加者各自がその選択した解決方法について発表します。(約5分)

インストラクター：

「色々な解決法が出てきましたね。この中から、**自分が実際に行うことができそうな解決方法**を記入してください。いくつでも構いません。」

「最後に、各自で発表していただいて、このプログラムは終了します。」

自分が行えそうな解決方法を記入してください。いくつでも構いません。

受講者
ワークシート

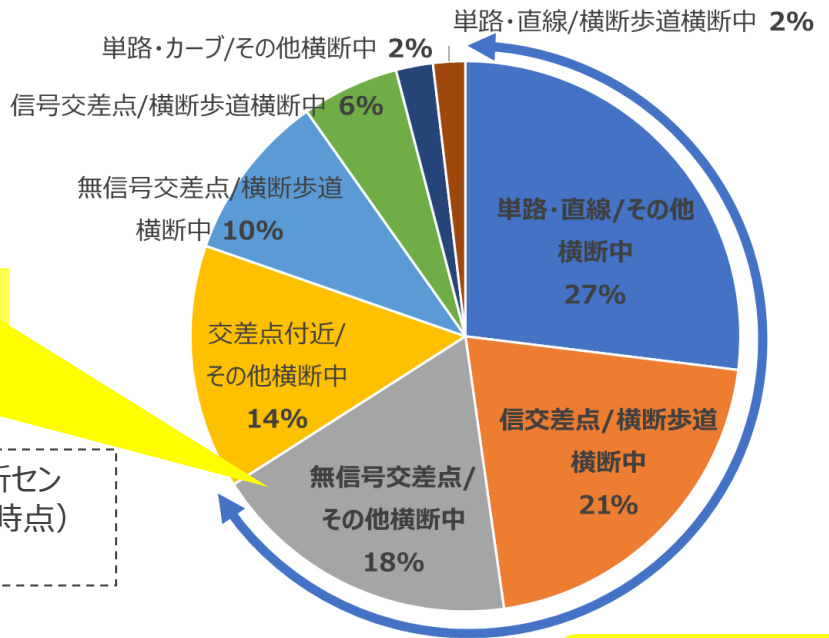
横断歩行者保護 交通安全コーチング

4-2_無信号交差点での危険_歩行者編 * 感情コントロール：ゆるみ *
終了となります。

➤ 歩行者の死亡事故の約7割が横断中で、道路形状別にみると、以下の場所で死亡事故が多発。

- ① 単路・直線/その他横断中27%
- ② 信号交差点/横断歩道横断中21%
- ③ 無信号交差点/その他横断中18%

横断中歩行者死者数
相手四輪 2018~2020 n=2,132



無信号交差点/その他横断中18%

出典：（公財）交通事故総合分析センターの集計データ（2021年4月1日時点）を基に作成。

	① 単路・直線/その他横断中	② 信号交差点/横断歩道横断中	③ 無信号交差点/その他横断中
多い事故の形	<ul style="list-style-type: none"> ● 直進四輪車と「右から」の歩行者との事故 <p>四輪直進中の事故98%</p>	<ul style="list-style-type: none"> ● 右折四輪車と歩行者の事故 <p>四輪右折中の事故48%</p>	<ul style="list-style-type: none"> ● 直進四輪車と「右から」の歩行者との事故 <p>四輪直進中の事故44%</p>
			<ul style="list-style-type: none"> ● 直進四輪車と「右から」の歩行者との事故 <p>四輪直進中の事故85%</p>